

富山国際学院沿革

年月	事項	詳細	経営
1993 年 4 月	開校	定員 120 名 富山県の姉妹都市遼寧省瀋陽市出身の学生が大半	株式会社 富山インターナショナル
1996 年 4 月	業態変更	日本国内の留学生が激減し、出資者が撤退。 教師が学生のために手弁当で授業を続ける。 定員を減らし、入国管理局及び日本語教育振興協会の認定を受け、任意団体として事業継続	任意団体
2005 年 9 月	業態変更	学院長交代を機に NPO 法人となる。	特定非営利活動法人
2015 年	校舎移転	校舎入居ビル改築に伴い校舎移転。 新校舎：富山市芝園町 2 丁目 5-13 織田ビル	特定非営利活動法人

近年の状況（留学生）

年度	総数	国別
2018 年度	55	中国 12 ベトナム 24 ネパール 19
2019 年度	46	中国 4 ベトナム 13 ネパール 26 韓国 1
2020 年度	23	中国 2 ベトナム 1 ネパール 18 モンゴル 2
2021 年度	4	中国 1 ベトナム 1 モンゴル 1 台湾 1
2022 年度	46	中国 1 ベトナム 1 ネパール 37 モンゴル 1 フィリピン 2 インド 1 バングラデシュ 1 ウズベキスタン 2

進学先

大学： 京都大学 名古屋大学 東京歯科大学 金沢大学 富山大学

富山歯科薬科大学 福島大学 福井大学 関西学院大学 日本大学 他

専門学校： 富山情報ビジネス専門学校 エール学園 穴吹カレッジ 他

進学後の就職

金沢大学理工学部教授 富山情報ビジネス専門学校教師 富山の企業様多数

大手の自動車研究開発チーム

30 年で送り出した卒業生は 500 名以上、修了生約 90 名、聴講生 300 名以上、教師派遣による受講者は 300 名以上となり、卒業・修了生たちは進学後に多くが日本で就職している。教師派遣受講生にも希望の道に進む力、また富山定着の力となっている。北陸の地で多文化共生の地域づくりのために当学院が担ってきた役割は大きいと思われます。これからも多文化共生の灯となっていきたいと考えております。